

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年12月24日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4697300020
法人名	社会福祉法人 恵誠会
事業所名	グループホーム 花神荘ひまわり
所在地	鹿児島県肝付郡肝付町後田2543番地1 (電話) 0994-65-7667
自己評価作成日	平成26年11月5日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年12月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム花神荘ひまわりは、周りに畑があり、のどかな自然があふれた場所にあり、また近隣に買い物できるお店も多数あり便利であります。入居された皆様もゆっくりとした空間の中で本人のペースで過ごせ、私達職員も生活の中で笑顔が見れるように支援を行っております。季節ごとにホーム内のイベントも計画しております。そして地域の振興会の理解や協力をもらいながら、地域行事(花見、十五夜、鬼火たき等)にも参加させて頂いております。今後も入居者の方々、ご家族の方々が入居し良かったと言われるようなグループホームを目指していきたく思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームの母体法人は特別養護老人ホームや各種介護事業所を運営し、地域の福祉拠点としての役割を担っている。
- ・協力医療機関と24時間医療連携体制が整っており、緊急時等の対応がなされ利用者や家族の安心につながっている。
- ・広い敷地内には菜園や花壇があり、天気の良い日はベンチでおしゃべりしたり散歩や菜園作りを楽しんでいる。
- ・敷地内には同系列のグループホームがあり、日常的に連携を取り合い協力関係にある。
- ・地域行事や県下一周駅伝等の応援など、積極的に地域交流が図られている。
- ・利用者一人ひとりのペースに合わせた時間の流れがあり、見守りや支えで利用者自身のできることを維持できるよう、職員は「待つ」姿勢を大事にしたケアに取り組んでいる。
- ・管理者を中心に職員間の連携が良く、支援に積極的に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	利用者や家族の笑顔を大切に、優しさと思いやりのある介護支援をモットーに、また地域との輪を広げられるよう職員皆で努めている。	地域密着型サービスの考えに基づき、職員で話し合って理念を作っており、玄関に掲示すると共に理念について職員会議等で確認し合いながら理念に沿ったケアの実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	月1回グループホーム便りを近隣振興会会長宅に届け、振興会の回覧板などで活動等を報告し、地域の活動などある時は連絡行い、地域行事の花見・十五夜・鬼火たきに参加させて頂いております。	地域行事に積極的に参加したり、特別養護老人ホームの夏祭りに地域住民と共に利用者も参加し交流を図っている。回覧板などで施設の活動をお知らせしたりボランティア受け入れなど地域との交流が図られている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域のお花見や十五夜に参加させてもらい交流行い、入居者の状況を確認して頂いています。車の乗り降りなど地域の方々がお手伝いして下さります。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者の生活状況・施設のサービス状況の報告行い、また情報提供（新しい事や分からない事など）をもらい参考にしご指導や助言を頂き、見直しに繋がっている。	会議は2ヶ月毎に開催し、施設活動報告や利用者の生活状況などを報告し、参加者からは地域行事の情報を得たり、要望・意見等を聞きサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議で助言や指導を頂き介護保険の手続き等で役場に行った時にちょっとした事や質問等がある時は尋ねたりして連携に繋がっています。	役場の担当者とは日頃からこまめに相談や報告を行い連携を取っている。運営推進会議でホームの状況や取り組み等を伝え、研修案内や感染症などの地域情報などを得る等、協力体制が築かれている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関は日中は鍵を開け、いつでも出入り出来るようにしている。身体ケアでも拘束になるような事はせず、職員みんなで心がけています。	法人全体で身体拘束ゼロに取り組んでおり、定期的に研修会が行なわれている。声の大きさや調子、早すぎる下膳等、身体拘束をしないケアに努めている。日中は玄関の施錠はせずに、帰宅願望の場合は自宅訪問等のドライブで対応している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人の研修会やGHの研修会で虐待防止について話し合いを行っている。支援の中でも虐待のないサービスに努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在対象者はいないが、今後研修会等で勉強をしていきたい		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約に関する事項は家族が分かりやすく納得してもらえるように説明を行う事を心がけています。皆様が心配される退所時も利用者や家族との関係が一切切れるわけではなくいろんな点で協力する事の説明しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	5月に行われた家族会の説明の中やアンケートで要望があり、その後早い段階で出来る事は要望に応えるように取り組んでいる。	利用者からは日頃の暮らしの中で思いを聞いている。家族からは面会時に状況報告をして意見や要望を聞くようにしている。遠方の家族へはホーム便り等を送付し意見や要望もその都度伺うようにしている。家族会や運営推進会議・アンケートで意見等を聞く機会を設けており、環境整備に関する要望等があり、対応に努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日常的に何か気づきがあると職員の声が聞かれるので、意見や提案を反映するように努めている。	月1回の職員会議や申し送りノートでケアに関する意見や提案・要望等を聞き、多くの提案が出され、職員の意見等を反映するように努めている。個人別に管理者は要望等を把握し対応している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年に2回勤務評価表にて従業員の評価を行っている。その評価が賞与や昇給へつながるよう努めている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修にも参加し、GH職員会や普段の生活の中でも介護技術が不足している点があれば指導を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	知人の同業者の方と連絡を取り、介護サービスについて参考にさせて頂いたり、外部研修会に参加時交流を図っていきたい。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	顔を覚えて頂く事を念頭に置き、利用者の不安を少しでも減少させる事が出来ればと利用者より話を聴かせて頂き、利用者の安心感につながるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の方は大半がG Hでの生活に慣れて、不安がなく生活してほしいと考えており家族の気持ちに沿えるように努めている。面会時にご家族と話を行い、要望など無いか確認に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者や家族にまず必要な支援を確認し、大事な仕方・対応方法等ある時は確認して利用者のサービスに繋げられる様に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に過していく中で、いろんな利用者の出来る事・困難な事がわかってきて、無理のない範囲で出来る事は自分で行って下さるよう一緒に行ったりしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の方が定期的に面会に来て下さり、困っている事や心配事に無理のない範囲で家族にも協力頂いております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行きつけの床屋さんや自宅への帰宅など、話が聞かれた時は喜んで協力させて頂いている。	近隣の入居者が多いので知人や親戚・家族の面会も多く、地域行事の参加や馴染みの店への買い物・行きつけの床屋・墓参り等、家族の協力を得ながら関係継続の支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の相性も考慮し、職員が中に入りながら関係性を良くしていこうと努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	体調不良で長期入院による退所された方でも面会に行き、経過の確認に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の生活ペースに合わせて過ごして頂き、話もよく聞かせて頂きどのように過ごしたいか聞いたり、人に言えない事など無いか顔の表情などにも確認行っている。	日頃の会話や表情等から、本人の思い等を把握するよう努め、面会時など家族からの情報も大切にしている。入浴時や夜勤時での会話からの情報が多い。情報等は申し送りノートに記載して共有している。困難な場合は家族の情報や職員で話し合い本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に話を聞かせて頂き、また入居後も普段の会話の中で自然と出てくる生活歴など以前の暮らしを聞かせて頂き把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一緒に過ごす中で、普段と違う点が見られる時は、特にみんなで気を付けるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者や家族・職員で担当者会議や面会時に話を聞かせて頂き、より良いケアが出来るように介護計画を作成している。	家族の面会時に利用者や職員で担当者会議を開き、主治医の意見を参考に介護計画を作成している。モニタリングと見直しを6ヶ月ごとに行い、状況変化時にも随時見直している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々その日の記録担当が中心になり記録を行い、全職員見て確認している。いつもと違う事があった場合、情報を職員同士で伝達し、必要な時は介護計画の見直しに繋げていくようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	「家に帰ってみたい」「買い物に行きたい」と話が聞かれると、時間を見て屋外散歩を試みたり、自宅の周辺にドライブに行ったり、またお店に行ったり、不安の減少に繋がるよう試みている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近くのお店に買い物に行きたい時は一緒に行ったり、また防災訓練で消防署へ確認しより良い訓練に繋げる様話を聞かせて頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族と共にかかりつけ医への受診や往診にて説明を頂いている。協力医療機関との連携を図っており、必要時は夜間・緊急時など連絡体制が出来ている。	本人及び家族の希望でかかりつけ医の受診を支援している。月2回の往診及び24時間緊急時対応の医療連携体制ができている。専門医受診については家族の協力を得ながら必要であれば職員が同行し、適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医療機関の看護師と顔見知りであり、気兼ねなく相談や情報を取り合っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された時は、入院中の身体状況を確認しながら病院関係者等に情報を頂き、早期の退院ができるように努め、病院等との関係作りも行っていきたいです。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期の在り方について、事業所の方針を重説等で説明しており、かかりつけ医からの説明や本人・家族等とよく話し合い、より良い方針を考えていきたいです。	契約時に指針に基づいて説明し、同意書をもらっている。重度化等の場合、かかりつけ医から家族に説明し、家族の意向を確認しながら支援に取り組んでいる。ほとんどの方が入居と同時に特別養護老人ホーム入所申し込みを行い、重度化した場合は主治医や家族と話し合い方向性を決めている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者個々の既往歴等を確認する。また緊急時等の対応について、会議や随時必要時は話を行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練を行い、同敷地にあるGH花神荘とも連携を図っている。また振興会長との連携や消防署からの指導を受けています。	年1回は消防署の協力を貰い夜間想定で避難訓練を行い、もう1回は自主訓練を昼間想定で行い、同一敷地内の他のグループホームと協力体制を築いている。通報システム、スプリンクラーも設置済である。緊急連絡網には地域住民にも協力を依頼し、法人全体でも協力体制が整っている。非常用の食糧等の備蓄もある。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーに気配りを行い、利用者の人格を損ねないように接しています。	マニュアルを基本に研修会などで研鑽し、利用者の性格などを把握し、その人に応じた声かけや対応を行うよう心がけている。入室時のノックや排泄介助時のさり気ない声かけ等の対応をしている。記録等の個人情報は事務室に適切に保管されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	まずは話を聞く事が第一と考え、利用者の話は傾聴するよう心がけています。利用者の意見や希望を聞いて、それに答えられるように心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の考えを第一に、日課はありますが無理強いしないように心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣服は本人の着たい物を着てもらおう。髪型は出来る方は自分でクシ通しなどしてもらいます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日常の会話の中で、好きな食べ物を聞いたり、「明日は何を食べたいか」等、話を聞かせて頂く事もあります。	職員と一緒に家庭菜園の野菜を採ってきたり、食材の買い物に出かけ準備を共にしている。献立は日常会話の中で希望を聞きながら調理をし、同じテーブルで食事をしている。行事食を楽しんだりそば打ちをしたり、手作り弁当を持って花見に行く等、利用者の力量に応じて手伝ってもらっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量を記録し身体の調子は良いか確認している。往診でも採血で確認を行い指導を受けている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後自分で口腔ケア出来る方はお願いし、（必要時は自室へ誘導し）支援が必要な方はお手伝いしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中はトイレやPトイレでの排泄を行っている。失敗の無いようにトイレの声掛けも行っている。	排泄チェック表を活用し、一人ひとりの排泄パターンに合わせた声かけや誘導を行って、トイレでの排泄を支援している。必要に応じてポータブルトイレを使用し、排泄の自立に向けた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の記録を行い便秘防止を図っている。食事・水分補給や運動の声掛けを行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は無理強いせぬように行っている。1日ごしの入浴ですが時間や曜日以外でも入浴を行う事もある。	入浴は隔日に行い、個別に午後から行っている。体調やその日の気分に合わせ時間帯や曜日・足浴・清拭など、柔軟に対応している。職員と会話しながら入浴を楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者が自室でのんびりしたい・ベッドで休みたい時などはお部屋でゆっくり過して頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員会で、利用者の薬の目的や副作用など説明し、職員間で服薬の支援を行っている。服薬にて症状の変化など無いかも確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々体操や歌・屋外散歩など行ない、また敬老会ではいつもより力を入れ、喜んでいただけるように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日は外気浴を行い、また自宅近くをドライブしたり、行きつけの買い物へ出かけたりもしている。	日常的に天気の良い日は近隣の散歩が日課であるが、庭を散歩したり庭のベンチで外気浴を楽しんだりしている。数人でドライブや買い物に出かけたり、法人内の他事業所訪問や地域行事参加など、初詣や花見等の季節毎に出かけ、外出の機会を多く持っている。車いす対応車もあり積極的に外出の支援に努めている。家族の協力も得ながら外出の支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分で管理されている方は2名います、（小遣い程度）買い物等で使用されることが多い。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族の了解も得て、利用者より電話の依頼がある時行っている。家族の負担にならない程度で考えている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内の臭いが残らぬように空気の入れ替えや掃除・片づけを行っている。	リビングは天井が高く天窓があり採光に配慮されている。温度や湿度の管理がなされ換気や加湿器で適度な環境が保たれ、掃除が行き届き清潔である。室内は季節の飾り付けがされ、壁には写真や季節感のある作品があり、利用者は椅子やソファなどでゆっくりとくつろげるよう工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ベット・タンス・クローゼットは設置して、それぞれの方が生活しやすいように居室は自由に環境を作っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者や家族にお部屋を確認して頂き、本人にとって必要な物など持参して頂き、また居室で過ごしやすいよう環境を整えています。	居室は大きな窓があり明るく温かみがある。介護ベッド・タンス・クローゼット・洗面台が設置され、本人が必要な家具等を持ち込んでも十分な広さがあり、利用者は使い慣れたタンスや写真・手芸品など、持ち込み壁には写真等を飾って落ち着いて過ごせるように工夫されている。夫婦の居室もある。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内は移動しやすいよう段差を作らず、手すりを設置し夜間に備えて自然電灯消灯の整備を設置している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない